

(参考情報)

事項	りんごの摘果剤NAC水和剤(マイクロデナポン水和剤85)は「もりのかがやき」に使用しない																						
ねらい	マイクロデナポン水和剤85を摘果剤として使用する場合。品種によっては落果程度が異なるので、品種ごとに使用方法を提示する必要がある。今回、「もりのかがやき」に対する散布の影響が明らかになったので情報を提供する。																						
内容	<p>1 薬剤名等 (1) 一般名：NAC水和剤85 (2) 商品名：マイクロデナポン水和剤85 (3) 有効成分：NAC85% (4) 人畜毒性：劇物 (5) 魚毒性：B類</p> <p>2 使用基準内容 マイクロデナポン水和剤85の摘果剤としての使い方(平成25年度 青森県農作物防除指針)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種名</th> <th>使用時期</th> <th>本剤の使用回数</th> <th>成分総使用回数</th> <th>希釈倍率</th> <th>10a当たり散布量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ふじ、陸奥、千秋、 玉林、北斗、さんさ 早生ふじ、トキ</td> <td>満開後2週間頃 (ふじでは横径10mm位の 時に散布)</td> <td rowspan="2">1回</td> <td rowspan="2">3回以内</td> <td rowspan="2">1,200倍</td> <td rowspan="2">350ℓ</td> <td>展着剤加用 有効成分： NAC85%</td> </tr> <tr> <td>紅玉</td> <td>満開後3週間頃 (横径16mm位の時に散布)</td> <td>人畜毒性：劇 魚毒性：B</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 「もりのかがやき」の満開日は「ふじ」とほぼ同じである。</p> <p>4 「もりのかがやき」に対する摘果効果 「ふじ」の満開後2週間頃及び3週間頃の散布で、いずれも過剰落果となるため、マイクロデナポン水和剤85は摘果剤として使用できない。 なお、摘果剤散布の際、「もりのかがやき」を栽植している園地では、薬剤がかからないよう注意する。</p>						品種名	使用時期	本剤の使用回数	成分総使用回数	希釈倍率	10a当たり散布量	備考	ふじ、陸奥、千秋、 玉林、北斗、さんさ 早生ふじ、トキ	満開後2週間頃 (ふじでは横径10mm位の 時に散布)	1回	3回以内	1,200倍	350ℓ	展着剤加用 有効成分： NAC85%	紅玉	満開後3週間頃 (横径16mm位の時に散布)	人畜毒性：劇 魚毒性：B
品種名	使用時期	本剤の使用回数	成分総使用回数	希釈倍率	10a当たり散布量	備考																	
ふじ、陸奥、千秋、 玉林、北斗、さんさ 早生ふじ、トキ	満開後2週間頃 (ふじでは横径10mm位の 時に散布)	1回	3回以内	1,200倍	350ℓ	展着剤加用 有効成分： NAC85%																	
紅玉	満開後3週間頃 (横径16mm位の時に散布)					人畜毒性：劇 魚毒性：B																	
期待される効果	<p>1 摘果剤の適切な使用ができる。</p> <p>2 摘果剤散布による摘果の省力化が期待できる。</p>																						
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成26年2月28日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報提供システム」(http://www.acis.famic.go.jp/j/nouyaku/n_info/)を確認すること。</p> <p>2 年によって効果の発現が遅れたり、不十分な場合もあるので、仕上げ摘果は遅れないようにする。</p> <p>3 NACを含む農薬のりんごに対する総使用回数は3回以内である。摘果剤としての使用回数は2回以内であるが、「満開後2～3週間頃」の1回散布で効果が認められている。</p>																						
問い合わせ先(電話番号)	りんご研究所 品種開発部 (0172-52-2331)			対象地域	県下全域																		
発表文献等	平成23、25年度 試験研究成績概要集(りんご)(りんご研究所)																						

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「もりのかがやき」、「ふじ」の生育ステージ
(平成22～25年 青森りんご研)

品種名	開花日 (月/日)	満開日 (月/日)	落花日 (月/日)
もりのかがやき	5 / 14	5 / 19	5 / 24
ふじ	5 / 15	5 / 19	5 / 23

(注) 4年間の平均日

表2 「もりのかがやき」に対するマイクロデナボン水和剤85の摘果効果
(平成23、25年 青森りんご研)

年	品種名	散布日 (月/日)	中心果 横径(mm)	調査日 (月/日)	区	落果率(%)		備考
						側果	中心果	
平23	もりのかがやき	6/3、2W	11.2	6/16	処理	57	0	過剰落果
					無処理	49	0	
	6/23			処理	85	60		
				無処理	67	10		
ふじ(対照)	6/2、2W	9.3	6/16	処理	27	0		
				無処理	11	0		
平25	もりのかがやき	6/7、2W	12.8	6/21	処理	83	50	過剰落果
					無処理	50	20	
	6/14、3W	20.8	6/28	処理	93	70	過剰落果	
				無処理	89	40		
ふじ(対照)	6/7、2W	10.8	6/21	処理	73	10		
				無処理	19	0		

- (注) 1 供試樹：平成25年で13年生M.26台樹、樹勢は中
 2 調査数：30果そう
 3 散布日の2Wは「ふじ」の満開後2週間頃、3Wは「ふじ」の満開後3週間頃